

林 智良
法学研究科・教授

【研究】

別途researchmapに詳細を登録した通り、本年度は「阪大法学」誌に論説1本(査読なし)、国際学会(第77回国際古代法史学会 SIHDA)にて口頭発表1回、『法制史研究』誌に書評1本、『ローマ法雑誌』に書評1本を明らかにした。あわせて、『ローマ法雑誌』に第77回国際古代法史学会の運営回顧、発表及び司会の記録を掲載した。令和5年度に引き続き、科研費基盤(B)の研究代表者として、共同研究の調整をおこなった。本年度は研究の具体的成果を一定量公にし得たと自己評価する。

イスタンブール大学のエンジュル博士受け入れを行った。博士のスタッフセミナーを含め、法学会のスタッフセミナーを2回企画した(もう一回は、ブエノス・アイレス大学のブイス教授)

【教育】

全学共通教育科目「法の世界」、法学部専門科目「法学の基礎(オムニバス担当)」・「ローマ法」・「専門演習」、大学院法学研究科科目「ローマ法」・「ローマ法特殊講義」、大学院高等司法研究科科目「ローマ法」を担当した。大学院学生を対象にラテン語の初歩を教えた。大学院博士後期課程学生対象の研究指導をおこなった。

【管理運営】

資料室委員、法学会監査、法学教官会幹事を務めた。

【社会貢献】

2024年5月には、法制史学会総会を大阪大学豊中キャンパスにて開催するために、三阪名誉教授、的場教授、小野教授と準備運営にあたった。2024年9月には、第77回国際古代法史学会(SIHDA)を大阪大学中之島センター他で開催するために、準備運営委員会委員長をつとめた。今年度は、労力の多くを本分野に傾けた。上牧町政治倫理審査委員は引き続き務めたが、開催実績なし。